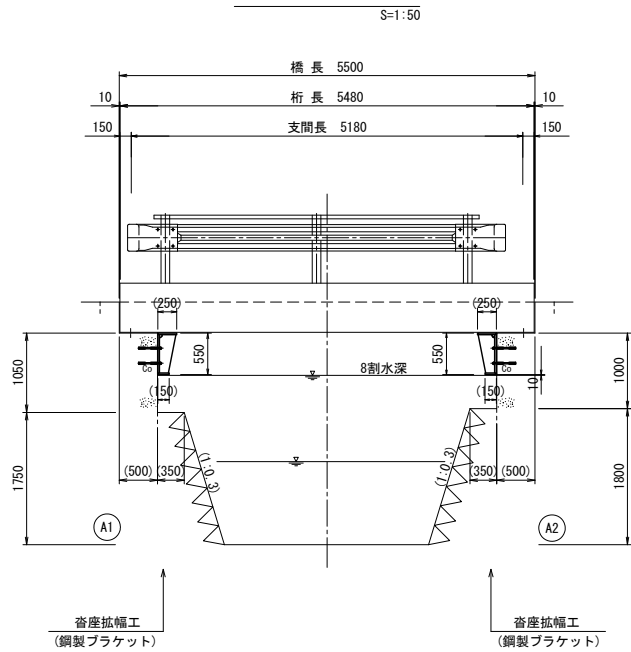


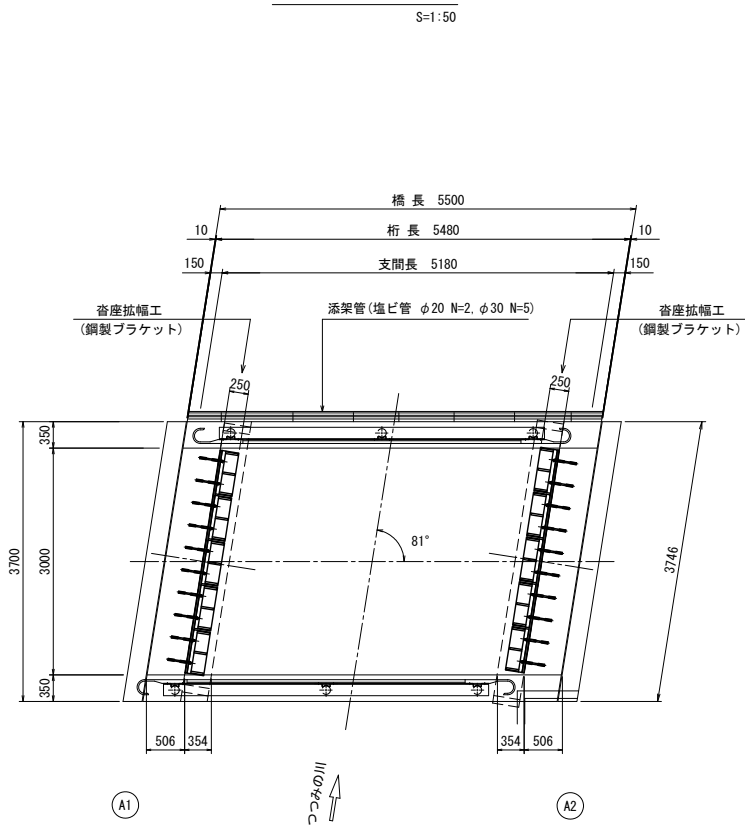
無名橋33 耐震補強一般図

側面図

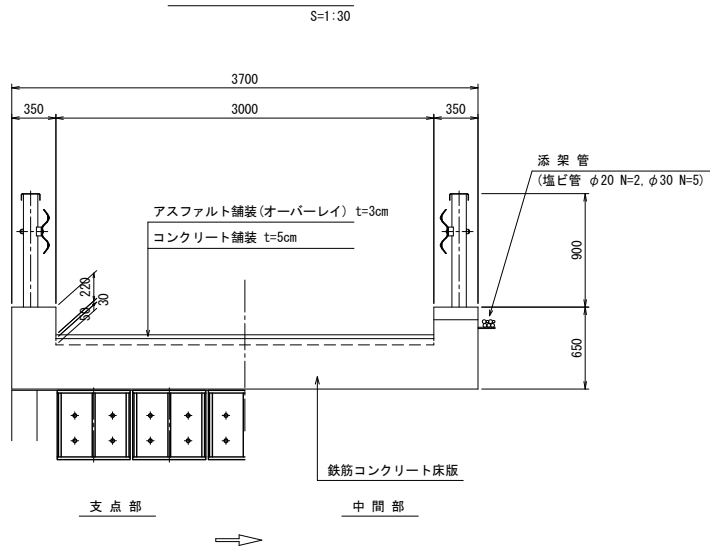


()内は支承線直角方向寸法を示す。

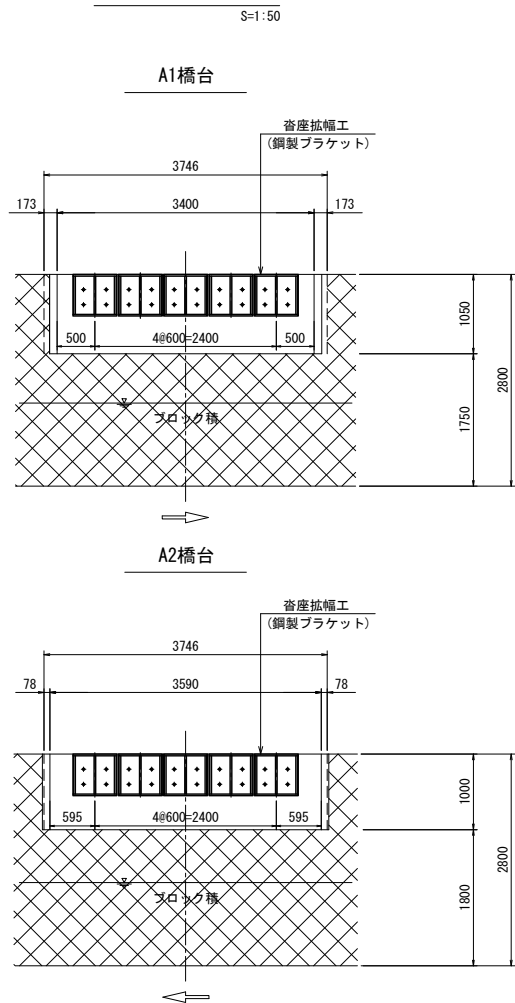
平面図



断面図



正面図



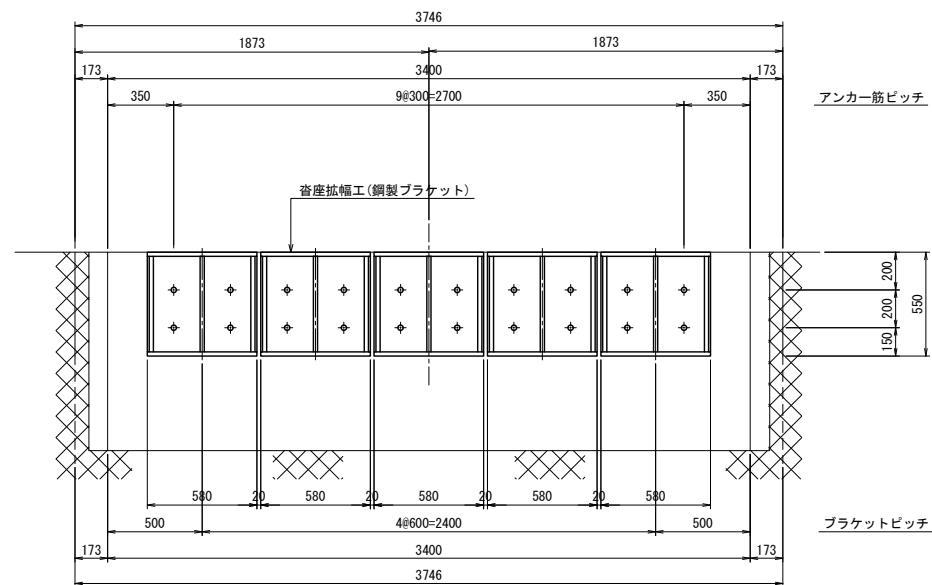
設計条件

橋格	—
上部工形式	単純RC床版
橋長	5.500m
桁長	5.480m
支間長	5.180m
全幅員	3.700m
有効幅員	3.000m
斜角	81° 00′ 00″
床版	鉄筋コンクリート床版
舗装	アスファルト舗装
支承	簡易支承(エラストイト)
橋台	重力式
橋脚	—
基礎	直接基礎

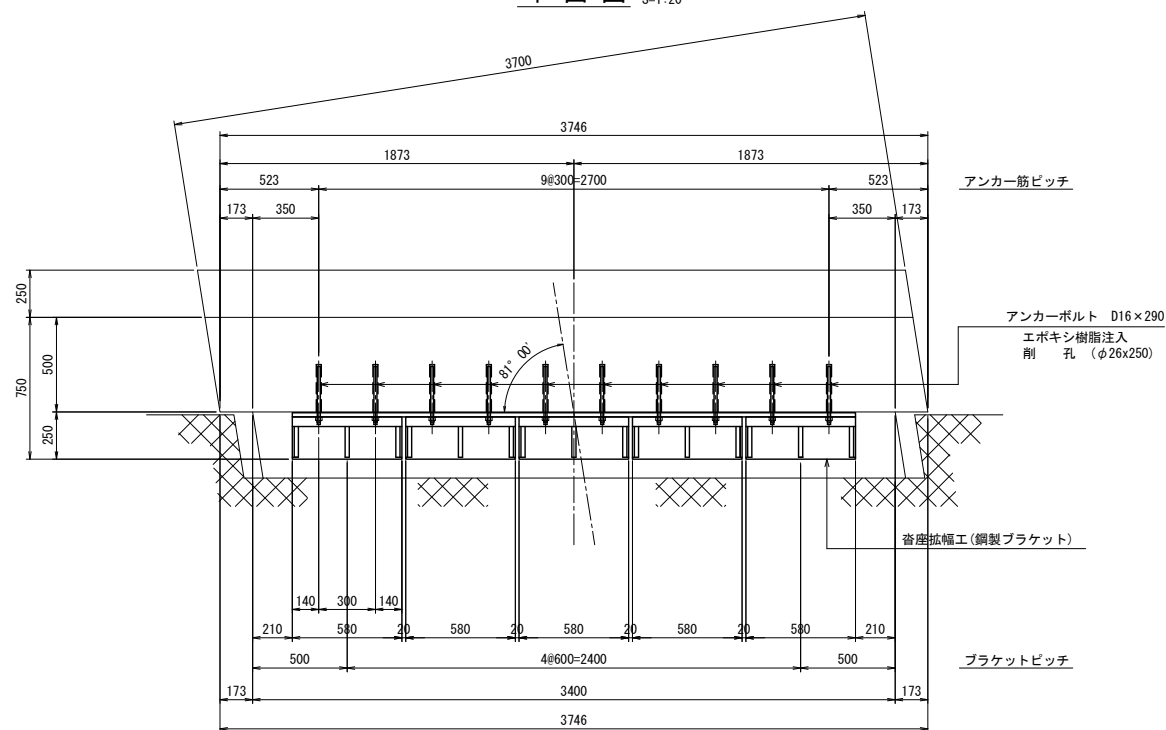
工事名	令和3年度 片田地区橋梁修繕耐震補強工事(無名橋33)		
図面名	耐震補強一般図		
年月日			
尺度	図示	図面番号	5 葉之内 1
会社名	-		
事務所名	志摩市		

A1橋台沓座拡幅詳細図

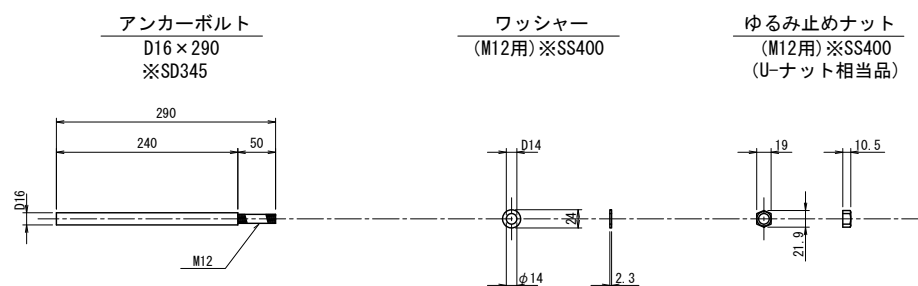
正 面 图 S=1:20



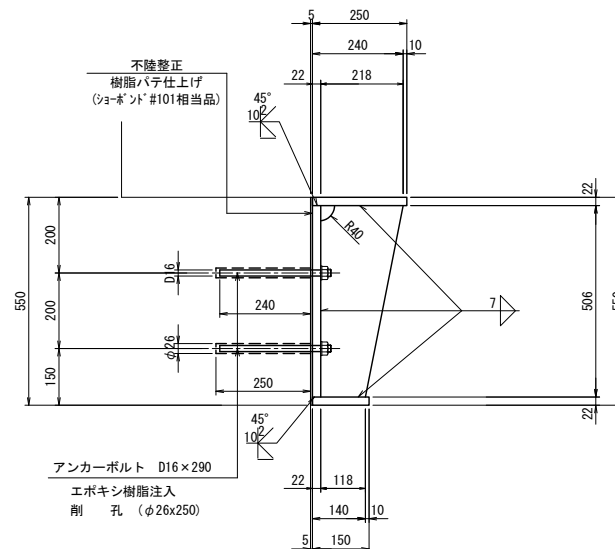
平面图 S=1:20



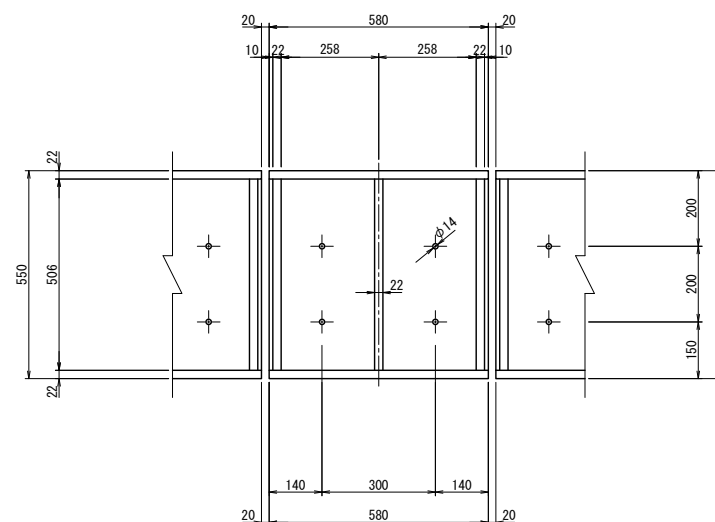
アンカーボルト詳細図 S=1:5



側面図 S=1:10



沓座拡幅詳細図 $S=1:10$



脊座拡幅(1基当り) N=5基

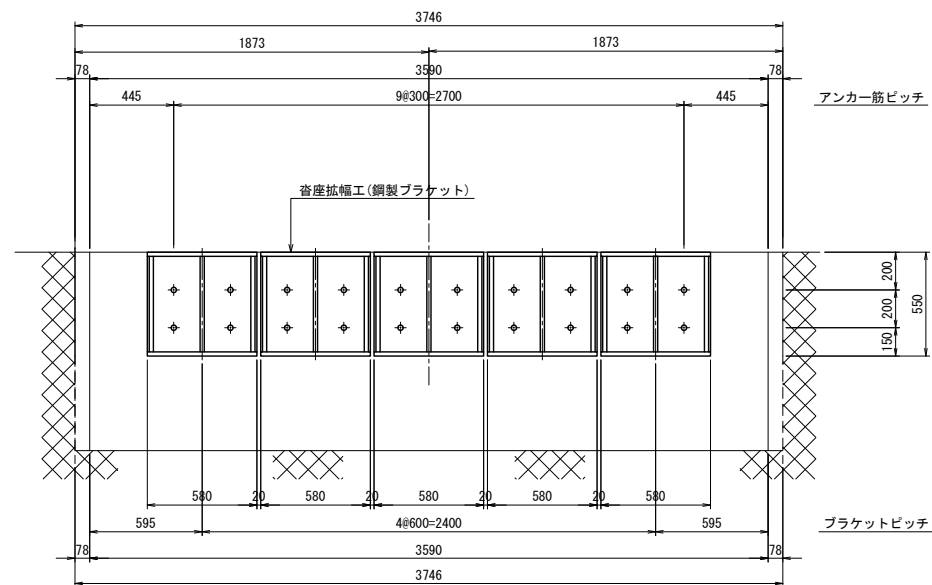
- 1-UFLG 250×22×580
1-BASE 506×22×580
1-LFLG 150×22×580
3-WEB 218×22×506
4-アンカーボルト D16×290 (SD345, WNN付)

- 注) 1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 鋼材は全て溶融亜鉛メッキを施すこと。
ただし、アンカーボルトはネジ部のみとする。
付着量は、鋼材 JIS8641 HDZ55
アンカーボルト、Nut、Washer JIS8641 HDZ35
3. ブラケットの取付及びアンカー孔の位置については、
現地再確認後、調整すること。
4. 施工にあたっては事前に鉄筋探索を行い、鉄筋を切断
しないようにすること。
5. アンカー筋は、15D以上の定着長を確保すること。

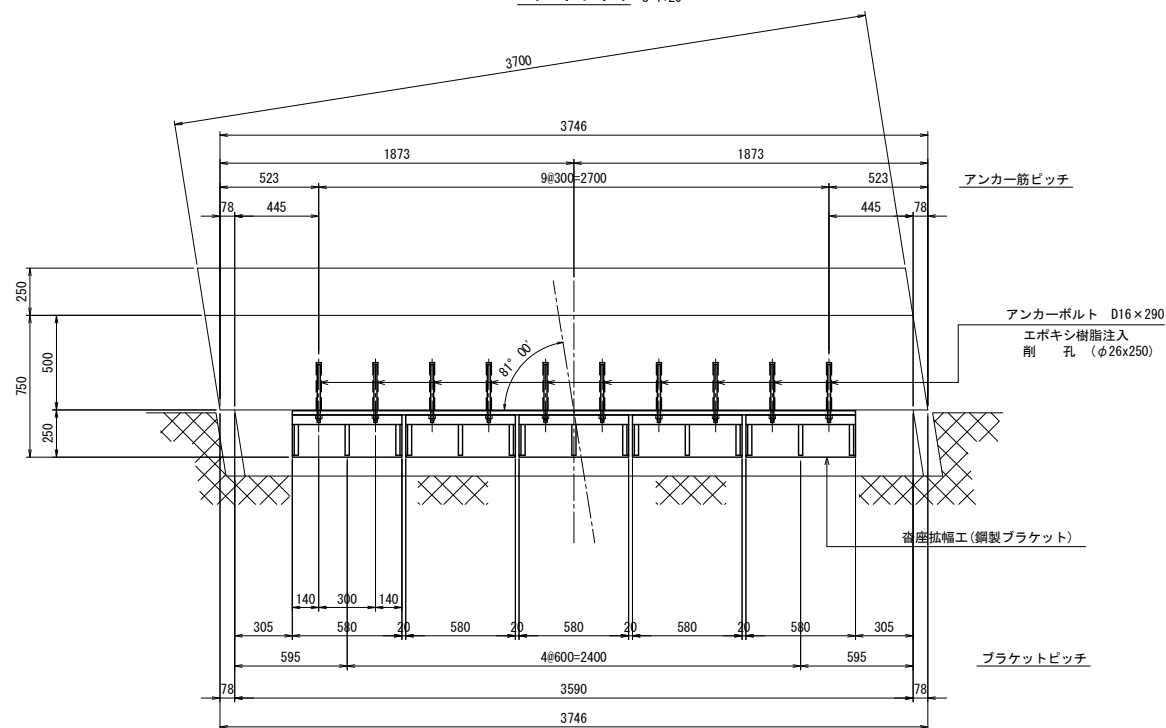
工事名	令和3年度 片田地区橋梁修繕耐震補強工事（無名橋33）		
図面名	A1橋台沓座拡幅詳細図		
年月日			
尺度	図示	図面番号	5 2 葉之内
会社名	-		
事務所名	志摩市		

A2橋台沓座拡幅詳細図

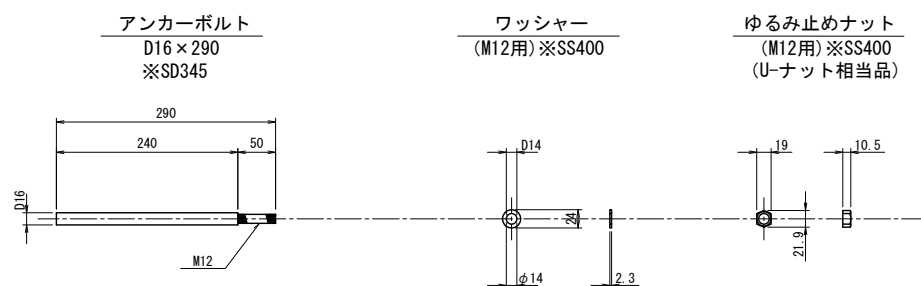
正面图 S=1:20



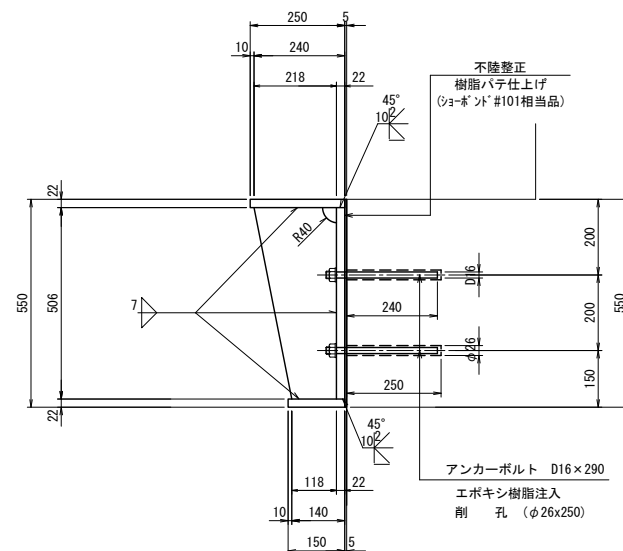
平面图 S=1:20



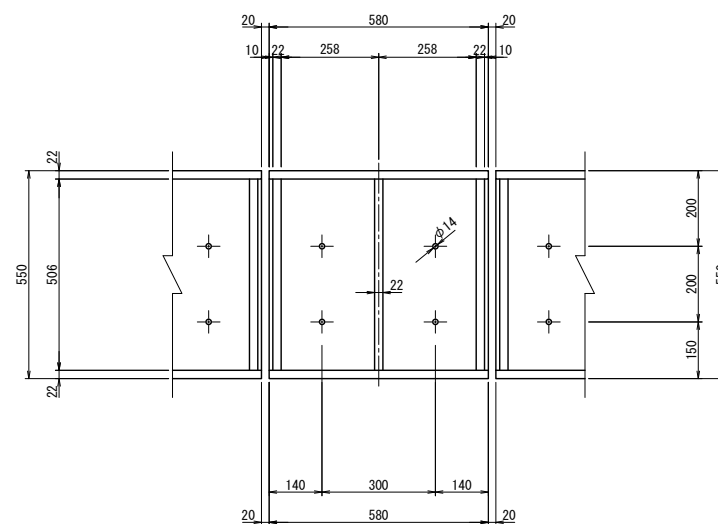
アンカーボルト詳細図 S=1:5



側面図 S=1:10



脊座拡幅詳細図 S=1:10



脊座幅(1基当り) N=5基

- | | |
|-------------------------------|---|
| 1-UFLG 250×22×580 | ただし、アンカーボルトはネジ部のみとする。 |
| 1-BASE 506×22×580 | 付着量は、鋼材 JIS8641 HDZ55 |
| 1-LFLG 150×22×580 | アンカーボルト、Nut、Washer JIS8641 HDZ35 |
| 3-WEB 218×22×506 | 3.ブラケットの取付け及びアンカー孔の位置については、
現地再確認後、調整すること。 |
| 4-アンカーボルト D16×290 (SD345、WN付) | 4.施工にあたっては事前に鉄筋探索を行い、鉄筋を切断しないようにすること。 |
| | 5.アンカー筋は、150以上の定着長を確保すること。 |

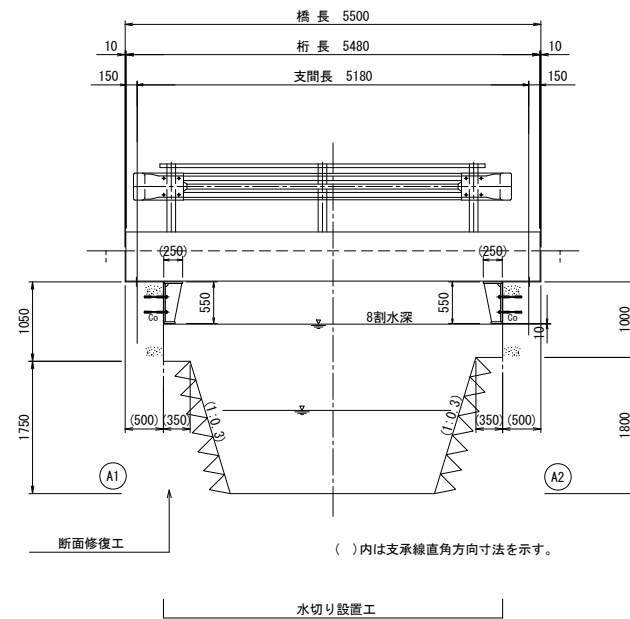
- 注) 1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 鋼材は全て溶融亜鉛メッキを施すこと。
ただし、アンカーボルトはネジ部分のみとする。
付着量は、鋼材 JIS8641 HDZ55
アンカーボルト、Nut、Washer JIS8641 HDZ35
3. プラケットの取付及びアンカー孔の位置については、
現地再確認後、調整すること。
4. 施工にあたっては事前に鉄筋探査を行い、鉄筋を切断しないようにすること。
5. アンカー筋は、15D以上の定着長を確保すること。

工 事 名	令和3年度 片田地区橋梁修繕耐震補強工事（無名橋33）		
図 面 名	A2橋台峯座拉幅詳細図		
年 月 日			
尺 度	図 示	図面番号	5 3 葉之内
会 社 名	-		
事務所名	志 摩 市		

無名橋33 修繕工一般図

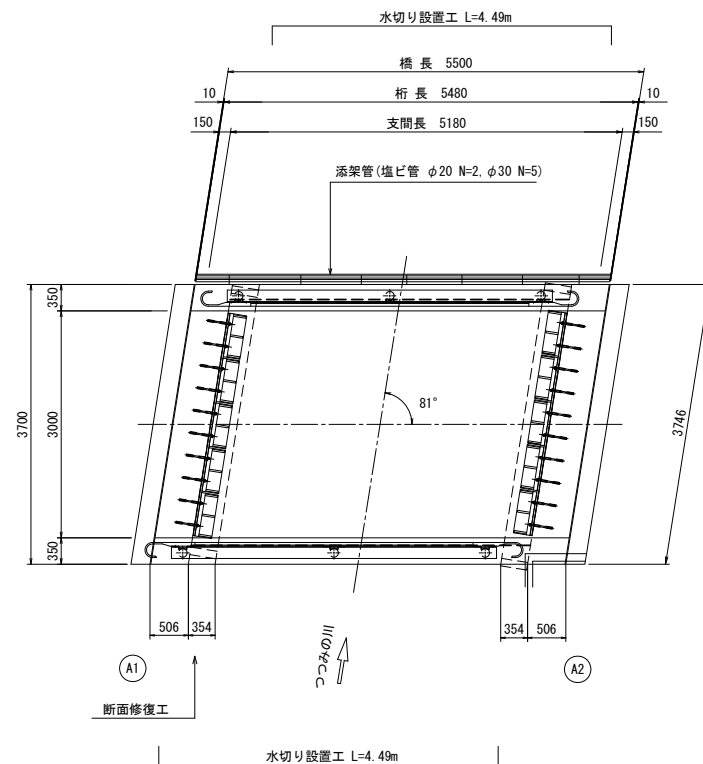
側面図

S=1:50



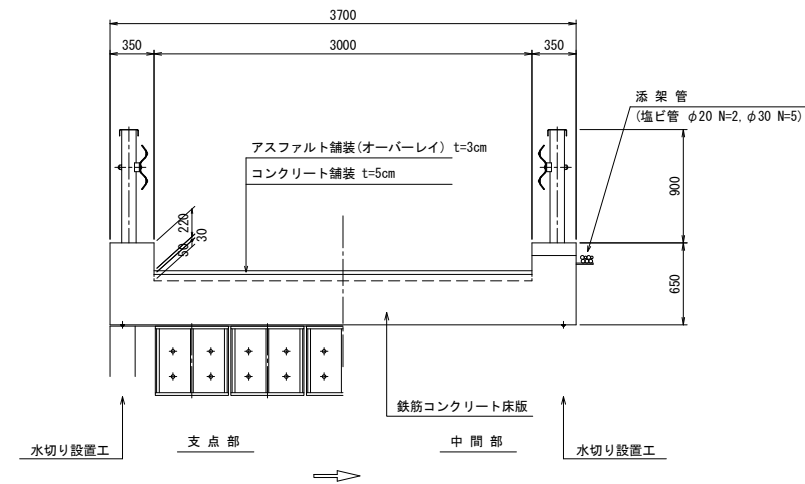
平面図

S=1:50



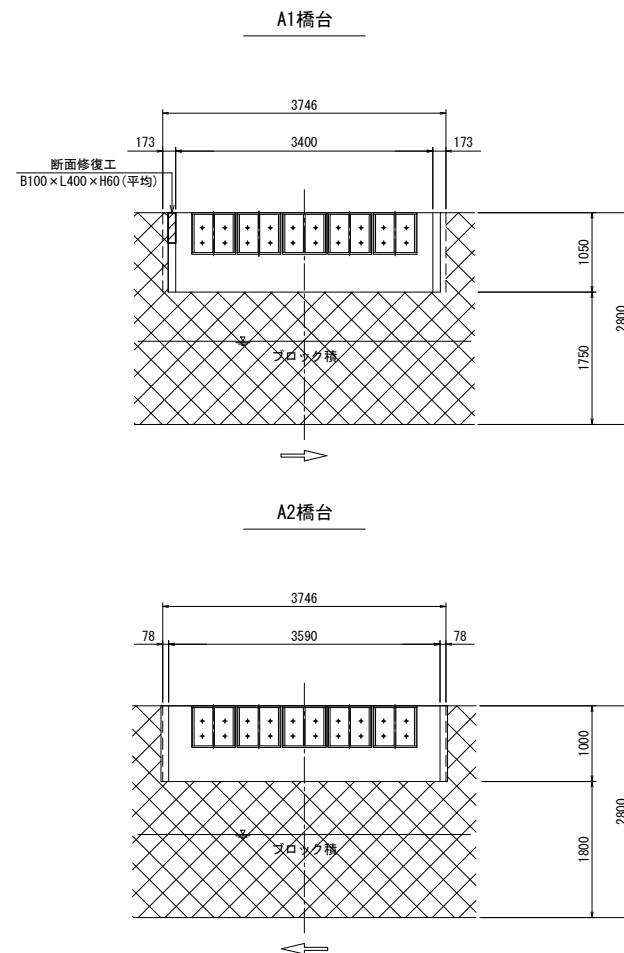
断面図

S=1:30



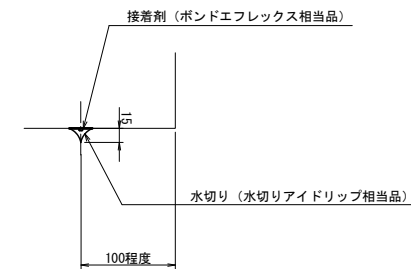
正 面 図

S=1:50

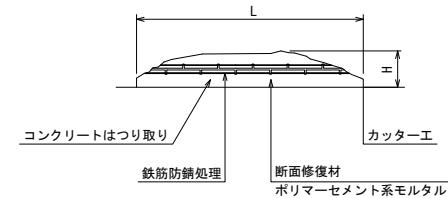


水切り設置工

S=1:4



断面修復工詳細図



- ※ 断面修復については、修復箇所の周囲にコンクリートカッターを使用すること。
- ※ なお、コンクリートカッター使用時に鉄筋を切断しないようにすること。
- ※ 断面損傷部の修復においては、施工前に詳細調査を行い、施工位置・寸法を確認すること。
- ※ 施工位置・寸法が現状と不適合と判断される場合においては、別途監督官と協議をすること。
- ※ 鉄筋防錆処理について
 カップワイヤー等にて鉄筋をクレンした後、水洗いを行い地及び鉄筋を清掃する。
 防錆材は鉄筋の均一に塗布する。

注記 1) : 各種修復においては、施工前に詳細調査を行い、施工位置・寸法を確認すること。
施工位置・寸法が現状と不適当と判断される場合においては、別途監督員と協議すること。

2) : 各種修復においては、既設鉄筋を切断しないようにすること。

設計条件

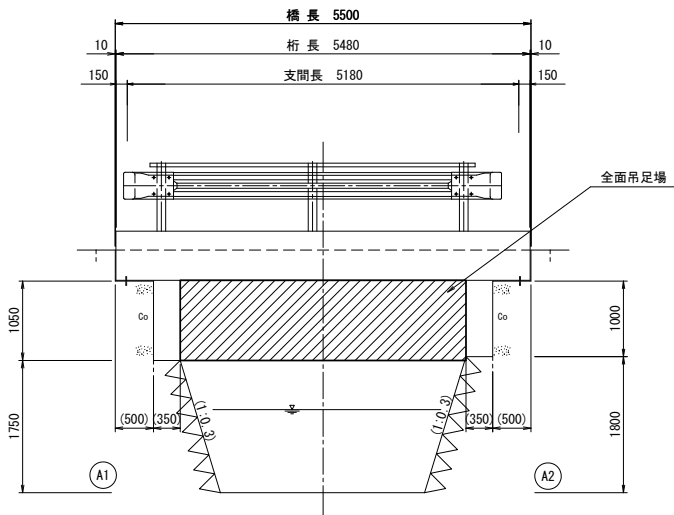
上 部 工	橋 格	—
	上部工形式	単純RC床版
	橋 長	5.500m
	桁 長	5.480m
	支間長	5.180m
	全 幅 員	3.700m
	有効幅員	3.000m
	斜 角	81° 00' 00"
	床 版	鉄筋コンクリート床版
下 部 工	鋪 装	アスファルト舗装
	支 承	簡易支承(エラストイト)
	橋 台	重力式
	橋 脚	—
	基 礎	直接基礎

工 事 名	令和3年度 片田地区橋梁修繕耐震補強工事（無名橋33）			
図 面 名	修 繕 工 一 般 図			
年 月 日				
尺 度	図 示	図面番号	5	4 裏之内
会 社 名	-			
事務所名	志 摩 市			

仮設足場工 参考図

側面図

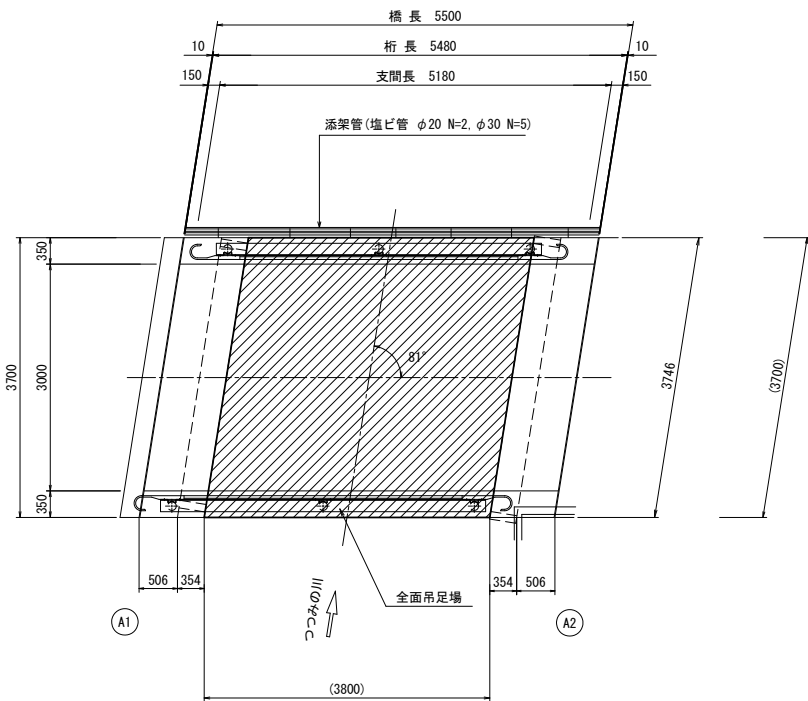
S=1:50



()内は支承線直角方向寸法を示す。

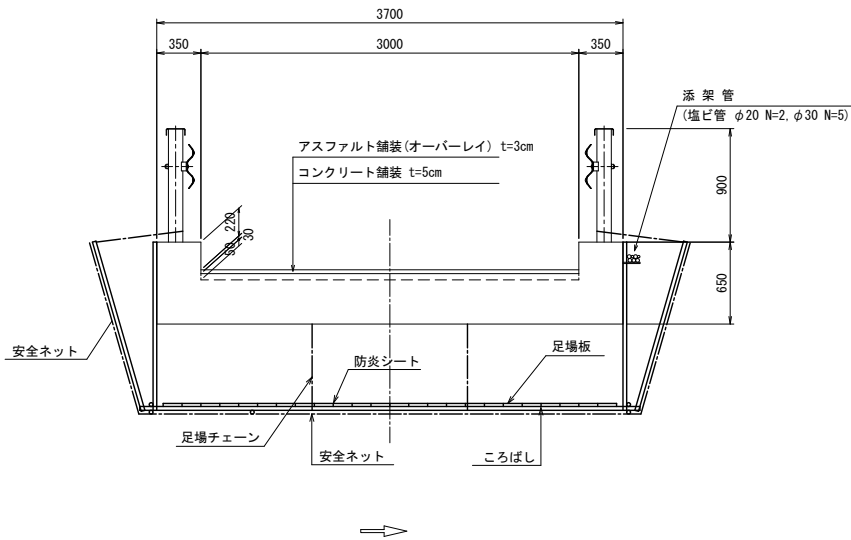
平面図

S=1:50



断面図

S=1:30



工事名	令和3年度 片田地区橋梁修繕耐震補強工事（無名橋33）			
図面名	仮設足場工 参考図			
年月日				
尺度	図示	図面番号	5	葉之内 5
会社名	-			
事務所名	志摩市			